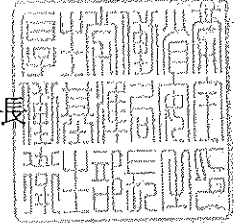


基安発0927第2号
平成24年9月27日

一般社団法人全国建設業協会会長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部長



平成24年度「『見える』安全活動コンクール」の実施について

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素より格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、事業場の安全活動の活性化を目的として、平成24年度「見える」安全活動コンクールを実施します（参考：平成24年10月1日付け報道発表（別添））。

本コンクールの円滑な実施のため、貴団体においても、下記のとおり広報に御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 ホームページ上での周知

貴団体のホームページ内に「『見える』安全活動コンクール」特設ページと厚生労働省の報道発表ページへのリンクを設定し、厚生労働省が「『見える』安全活動コンクール」への応募受付中である旨、また「あんぜんプロジェクト」への参加企業募集中である旨を周知願います。

「『見える』安全活動コンクール」特設ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>

厚生労働省報道発表ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002kw6h.html>

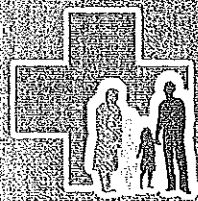
2 リーフレットを活用した周知

「『見える』安全活動コンクール」と「あんぜんプロジェクト」の周知用のリーフレットを「あんぜんプロジェクト」ホームページ上に掲載しています。

ついては、傘下団体及び賛助会員等に対して、当該リーフレットを活用して、コンクールへの応募・投票のほか、あわせて「あんぜんプロジェクト」への参加の呼びかけをお願いいたします。

リーフレット掲載ページ

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/leaflet_2012.pdf



あんぜんプロジェクト

あんぜんプロジェクトは、労働災害のない日本を目指して、働く方の安全に一生懸命に取り組む、「働く人」、「企業」、「家族」が元気になる職場を創るプロジェクトです!



プロジェクトメンバー
(参加企業)を
募集しています。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

サイトで募集中。メールで参加申請できます。
自社ホームページを開設していない場合でも
プロジェクト参加が可能です!

「あんぜんプロジェクト」
ホームページ上で
「見える」安全活動コンクール
を実施します!

募集期間

平成24年10月1日(水)～11月30日(木)

優れた安全活動事例を募集しています!

安全は企業の礎です。

働く人の安全と健康を確保することは事業者の責務ですが、そのためには、企業と社会の両者の責任と工夫による不断の努力が不可欠です。また、安全への取組は、働く人の能力向上、企業の生産性向上、ご家族の安心やワークライフバランスの実現にも良い影響を与えています。消費者の皆様にも良質な製品やサービスの提供することにつながるものです。

あんぜんプロジェクトは、働く方の安全に一生懸命に取り組んでいる企業を応援しています!

参加手続きについての問い合わせ先

参加手続き申請窓口 (富士通株式会社)

電話 : 03-5962-3138

e-mail: contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com

あんぜんプロジェクトについての問い合わせ先

あんぜんプロジェクト事務局
(厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課)

電話 : 03-3595-3225

※あんぜんプロジェクトの参加手続きに係る事務は、平成24年度「安全から元気を起こす戦略総合推進事業」の委託契約を厚生労働省と締結した富士通株式会社が実施します。

あんぜんプロジェクトFAQ

1 プロジェクトの趣旨について教えてください。

働く人の安全を確保することは事業者の責務であり、企業において最優先に取り組んでいただきたいことです。安全への取組は働く人の命や健康を守るだけでなく、生産性の向上が期待されるとともに、企業内の士気を高め、働く人同士の信頼感の向上につながることを期待されます。このような労働環境であれば、働く人は働きがいをもって業務をこなし、個々の能力を向上できます。また、ご家族も安心して働く人を会社に送り出せます。安全への取組は、いわば、企業の礎です。

このように、良い製品やサービスを消費者に提供することとそこで働く人の安全への取組は切り離せないものであり、消費者の皆様にとっても、両者はともに企業のマネジメントのレベルを示すものとして重要な指標であると考えています。

「あんぜんプロジェクト」に参加する企業(プロジェクトメンバー)は、このような理念のもと、労働災害のない日本を目指して、働く人の安全に一生懸命に取り組むものとし、また、プロジェクトメンバーの取組を広く国民の皆様を紹介することで、企業価値(安全ブランド)の向上に繋がることを期待するものです。

2 プロジェクトに参加するとどうなるのでしょうか？

①プロジェクトメンバーは、労働災害のない日本を目指して、働く人の安全に一生懸命に取り組むものとし、その安全活動の状況、労働災害の発生状況等をホームページで公開していただきます。

②「あんぜんプロジェクト」ホームページでは、プロジェクトメンバーの企業名等を公表し、該当ページにリンクを張らせていただきます。

※ホームページのレイアウトは、事務局より、事前の通知なく改訂される場合がありますので、予め承知ください。

3 プロジェクトに参加資格はあるのでしょうか？

以下の(1)~(3)が参加資格となります。

(1) 働く方の安全に一生懸命に取り組んでいる事業場・企業または企業グループであること。

(2) 事業場・企業または企業グループでの安全活動の状況、労働災害の発生状況等をホームページで公開していること(企業のCSR報告書の一部でもかまいません。)

(3) 労働保険に加入していること。

4 申込みするための手続きを教えてください。

次のURL (<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/registration/index.html>) から申請書(エクセル)をダウンロードし、必要事項を記入の上、参加手続き申請窓口まで送付ください。

【e-mail: contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com】

申請書の内容を事務局で確認した後、掲載予定日を御連絡いたします。

※申請書の記載等から「あんぜんプロジェクト」の趣旨に反することが明らかであると認められる場合には、参加が承認されないこともあります。

5 プロジェクトに加入するとお金がかかるのでしょうか？

プロジェクト参加は無料です。その後の会費等も一切不要です。

6 プロジェクトに入るとどんなメリットがあるのでしょうか？

あんぜんプロジェクトにご参加いただくと…

①あんぜんプロジェクト公式ロゴマークをご使用いただけます。

②自社の安全対策に積極的に取り組んでいる企業であることを広く世の中にアピールできます。

③ご希望される方に対しては、メルマガにより、企業の安全衛生対策に有用な情報を随時ご提供いたします(平成24年9月より配信予定)。

④その他、プロジェクトメンバーがより安全対策に取り組んでいけるよう、厚生労働省では様々な企画を随時検討していきます。

7 自社ホームページを開設していなくてもプロジェクト参加は可能でしょうか？

あんぜんプロジェクトでは、働く人の安全の確保に積極的に取り組んでいるものの、自社ホームページを開設していない企業が、プロジェクトメンバーの申請を行えるように、安全方針、安全活動の具体例、労働災害発生状況等を公開するための専用ページを立ち上げております。

※専用ページの使用を希望される場合は、「安全プロジェクト参加申請書」とともに「専用ページ使用申請書」を事務局にご提出ください。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/registration/index.html>

「見える」安全活動コンクール

労働災害防止のための 「見える」安全活動を 募集します。

募集期間：平成24年10月1日～平成24年11月30日

投票期間：平成24年12月17日～平成25年2月17日

結果発表：平成25年3月下旬

募集専用ページ：<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>

コンクールの趣旨・目的

あんぜんプロジェクトでは、企業における安全活動の活性化を図るため、「見える」安全活動コンクールを開催します。労働災害防止のための創意工夫を募集しますので、企業・事業場で実施されている独自の「見える」安全活動を応募してください（メンタルヘルス対策も対象になります）。

応募いただいた安全活動については、あんぜんプロジェクトホームページに掲載し、広く国民に紹介させていただきます。また、安全活動をご覧になった方からの投票、意見を募集し、後日、結果発表を行います。

「見える」安全活動とは

危険、有害性については、通常視覚的に捉えられないものがあります。それらを可視化（見える化）すること、また、それを活用することによる効果的な安全活動を「見える」安全活動といいます。

昨年度の応募状況を踏まえ、今年は以下の7つの「見える化」の類型別に募集を行います。

- I. 危険有害性の「見える化」
- II. 安全衛生情報の「見える化」
- III. 見えない安全衛生事象の「見える化」
- IV. 安全衛生活動への参加の「見える化」
- V. 第三者に対する安全衛生の「見える化」
- VI. IT技術を利用した安全衛生活動の「見える化」
- VII. 安全衛生活動の「見える化」による見える化以外の効果

詳細は下記URL

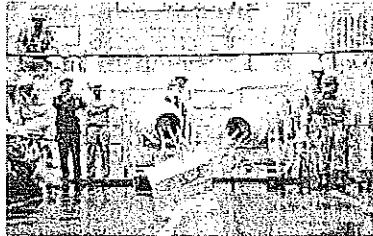
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/2012_result.html を参照ください。

また、労働災害の発生状況を見ると、陸上貨物運送事業、第三次産業等の業種や中小企業における「見える」安全活動も重要であることから、これらの業種や中小規模の企業等における活動の積極的なご応募をお待ちしています。

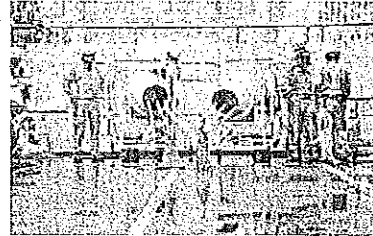
「見える」安全活動の例

危険有害性の「見える化」(身近にある危険を見る化)

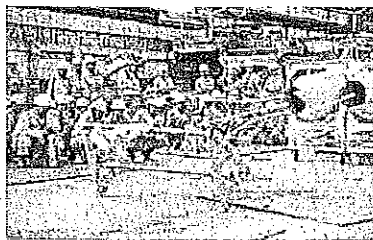
図面は30m先の面が完成



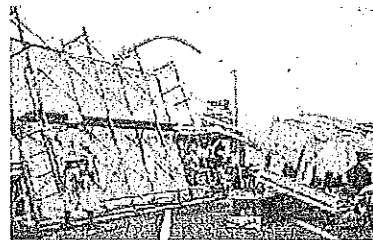
図面はもちろん!!



カブリコーンが走る!!



バリケードも転倒!!



控えの無い足場は倒壊!!

起こり得る危険を実験にて再現し、体験することで危険に対する感度と安全意識の向上を図る。

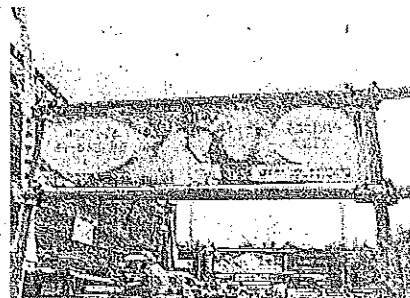
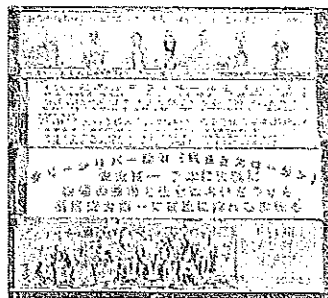
※新北ビル工事は718万時間の無災害記録をもって厚生労働大臣賞を受賞。プロジェクト全体では無災害記録1,600万時間を継続中

参考資料：安全衛生周知実験

企業名：(株)大林組

業種：建設業

安全衛生活動への参加の「見える化」(ヒューマンエラー防止のための職長会横断幕)



職長会(家族含む)の横断幕を作成し掲示することにより、『家族のため、仲間のために安全にいい仕事をするんだ』という意識を向上させ、作業所内の連帯感を強くすると共に、風通しのよい作業所を目指す。

企業名：(株)長谷工コーポレーション

業種：建設業

その他の安全活動事例はhttp://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/contents/2012_result.html